



ゆすはら町議会だより

四万十源流

平成29年7月20日

第100号

題字 議長 土釜 清



5月臨時会

議会5月臨時会は、5月1日に1日限りの会期で開催した。

今後2か年の議会運営を託す組織議会でもあり、正副議長については様々な議論があったなか、地方自治法第103条第2項の規定により、議長に土釜清氏、副議長に市川岩亀氏がそれぞれ留任となった。また、議会運営委員会委員、各常任委員会委員、議会広報編集委員会委員の選任も行われ新しい組織が決定した。

さらに執行部提案の町有財産(不動産)の取得や専決処分の承認について審議を行い、すべての議案について原案通り可決した。

専決承認

【平成28年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第6号)】

地方譲与税、地方交付税及び国県補助金の交付額が確定したことによるもの。

可決(全員賛成)

【梶原町税条例の一部を改正する条例】

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律、地方税法施行規則の一部を改正する省令及び地方譲与税法施行規則の一部を改正する省令が平成29年3月31日にそれぞれ交付されたことによるもの。

可決(全員賛成)

【梶原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例】

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律、地方税法施行規則の一部を改正する省令及び地方譲与税法施行規則の一部を改正する省令が平成29年3月31日にそれぞれ交付されたことによるもの。

可決(全員賛成)

その他

【町有財産(不動産)の取得について】

移住又は定住者の生活支援体制の充実及び住環境をはじめ条件整備を図り、生活基盤を充実させ、人口減少に立ち向かうため、町有財産として高知県住宅供給公社から「三嶋崎ハイツ」を取得したいので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めようとするもの。

可決(全員賛成)

新しい組織が決定

平成29年5月1日の臨時会において新たな組織を決定した。(※組織は平成29年5月1日時点)



土釜議長



市川副議長

議会運営委員会

- 委員長 二宮 近雄
- 副委員長 川上 寿久
- 委員 下元 秀俊
- 高橋 基文
- 中岡 俊輔
- 西川 慶男
- 市川 岩亀

産業建設常任委員会

- 委員長 下元 秀俊
- 副委員長 中岡 俊輔
- 委員 高橋 基文
- 土釜 清
- 市川 岩亀

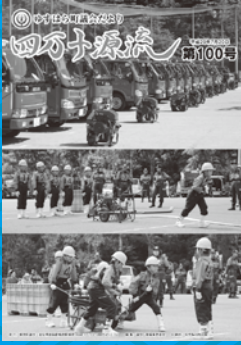
総務教育厚生常任委員会

- 委員長 西川 慶男
- 副委員長 二宮 近雄
- 委員 川上 寿久
- 土釜 清
- 市川 岩亀

議会広報編集委員会

- 委員長 中岡 俊輔
- 副委員長 下元 秀俊
- 委員 川上 寿久
- 高橋 基文
- 二宮 近雄
- 市川 岩亀
- 西川 慶男

表紙写真の紹介



7月2日に行われた、橋原消防団女性消防隊連合演習の中で行われた橋原学園少年消防クラブの演習風景

6月 定例会

議会6月定例会は、6月5日から6日の2日間の会期で開催した。

一般質問には、二宮議員が「南町・飯母にまたがる山の開発計画について」町の考え方、方向性を確認した。

議案審議では、農業委員会の委員の同意を求めることについて、備品購入についてなど4件の議案について本会議で審議を行い、すべての議案について原案どおり同意、可決した。

また、報告として、土地開発公社などの経営状況の説明書、津野山畜産公社の経営状況の説明書などの報告があった。

行政報告

町長は、平成29年3月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。

総務課関係

- ・叙勲について
長谷部悟氏
(瑞宝双光章)
- ・副町長退職について
- ・選挙管理委員会について
- ▽選挙人名簿定時登録者数
- ▽平成29年度執行傍原町長選挙期日の決定
- ・草の根技術協力事業について
- ・土佐源氏記念講演について

企画財政課関係

- ・地方創生事業について
- ▽ジビエ利用拡大に関する関係省庁連絡会議
- ▽高知県林業大学校初代校長に隈研吾氏が就任
- ▽株式会社良品計画
金井政明会長ら来庁

環境整備課関係

- ・国道197号新野越トネル工事貫通式について
- ・平成29年度高知県議会産業振興土木委員会への要望について
- ・(仮)ゆすはら森の中のまるごと図書館・ゆすはら複合福祉施設新築工事について

産業振興課関係

- ・橋原町有害鳥獣被害対策協議会総会について

教育委員会関係

- ・橋原高等学校高知県体育大会での結果について



行政報告する矢野富夫町長

〈目次〉

行政報告など
2～3

6月定例会
での決定
4～5

一般質問
6～7

心のふれあい広場
8

議案審議の概要

その他

【農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて】

農業委員の任命について同意を求めるもの。

同意（全員同意）



住所…梶原町井の谷
氏名…森田 呂弥

【農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて】

農業委員の任命について同意を求めるもの。

同意（全員同意）



住所…梶原町中の川
氏名…谷川 恵美

【農業委員会の委員の任命に付き同意を求めることについて】

農業委員の任命について同意を求めるもの。

同意（全員同意）



住所…梶原町梶原
氏名…山本 正澄

【備品購入について】

梶原町まち・ひと・

しごと創生事業の中核となる集落活動センターの生きる仕組みの一つの柱として、町内全域で増加する有害鳥獣の効率的な捕獲によりジビエ利用拡大を図り、地域経済に繋げるため「移動式解体処理車」の購入について議決を求めるもの。

承認（全員賛成）



移動式解体処理車

その他

【梶原町土地開発公社の経営状況の説明書】

【一般社団法人津野山畜産公社の経営状況の説明書】

【株式会社雲の上の経営状況の説明書】

【ゆすはらペレット株式会社の経営状況の説明書】

【繰越明許費繰越計算書】

【議員の辞職について】

このたびは一身上の都合により、高橋基文議員が平成29年5月23日付けで議員辞書願を提出され、議長の許可を得て、平成29年6月8日付けで梶原町議会議員を辞職しました。





産業建設常任委員会

後列左から、高橋委員、土釜委員、市川委員
前列左から、下元委員長、中岡副委員長



議会運営委員会

後列左から、下元委員、高橋委員、西川委員、中岡委員
前列左から、二宮委員長、川上副委員長



議会広報編集委員会

後列左から、二宮委員、高橋委員、市川委員
前列左から、川上委員、中岡委員長、下元副委員長、西川委員



総務教育厚生常任委員会

後列左から、川上委員、土釜委員、市川委員
前列左から、西川委員長、二宮副委員長

※組織は平成29年5月1日時点

寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」
に対し寄付をいただきました。
紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

東京都葛飾区
兵庫県明石市

小川悦子様
二村實建様

閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、
次の事項を調査します。

- 議会運営委員会
- 総務教育厚生常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 議会広報編集委員会
- 議会9月定例会の運営について
- 福祉について
- 産業振興について
- 議会広報の発行について



危険な山はカットして 災害を防止すべきだ！

問 二宮近雄

私は、矢野町長に対する質問は今回が最後になると思いますので、7年5ヶ月を振り返り、少し話をさせていただき、その後一点について質問をさせていただきますと思います。

では、50年前に山口勇町長が提唱していた「町長と助役は一心同体」でなければならぬとの言葉を胸に刻み、今日までそのことを頭に置きながら町政運営をしてきたのであります。

この教えの言葉を中越準一町長、中越武義町長、矢野富夫町長は深く理解して実行し、立ち止まることなく梶原町は日々前進し、千百年の歴史と伝統を守り、日本の中でも注目される存在となってきたのであります。そして「安全で安心」さらに「生まれよ良かった、住んで良かった」と言われる町となって今日に至っております。

を始め、図書館や複合福祉施設などの施設整備、そして高知県内34市町村の中で、梶原町だけである集落活動センター6か所の開所など、功績をたどれば数えきれないほどの活躍をされてきたのであります。また、一方では、これだけの数々の大きなプロジェクト事業を行いながら基金積立金にいたしましたも、就任時の75億円の基金は3月現在、約120億円となっております。この点についても高い評価をするべきであると感じております。町民の皆さんもこのような事実があることも知ってほしいです。このことは一心同体の結果であると思っております。

町長の残りの任期はまだ7ヶ月あるわけでありますが、先日「自治体国際化協会」のホームページを開いてみたところ、来る8月28日から9月1日まで韓国の蔚山市（ウるさんし）で開催される「第19回日中韓3か国地方府交流会議」の日本代表の3名の中の1人として参加を要請され、「少子高齢化の深化に伴う地方自治体の政策的努力」をテーマにした部門において、矢野町長がパネラーとして発言するようになってきているようであります。このことは、本町が取り組んでいる数々の政策が、国にも世界にも認められている証であり、本当に嬉しく思う次第であります。

そして残りの任期はまだ7ヶ月ありますので、各方面に対し、力強い尽力をいただきたいと思っております。町長の日頃の積極的な活動に心から敬意を表する次第であります。

町長は、今年の3月22日、12月に予定されている町長選挙に立候補しないと表明されました。このことは町民にとっても、私にとっても寝耳に水の話であり、町民の一人は3・22事件だと言われておりましたが、私も全く同感の一人でありませぬ。

当時の山口勇町長は、何故「一心同体でなければならぬか」との一貫した考え方は、梶原町のように人口も少なく、財政的な脆弱な町は地域住民との絆はもとより、国や県の幅広い人脈、そして政界や財界人との深い信頼関係をつくり支援を受けながら情報を共有し、次の梶原町を担う人材を育成して、町民の付託に応え「行財政の安定と継続性」がスムーズにバトンタッチができる方法を考えて行くことが大切であると言われ教示の言葉でありました。

このような中で、矢野町長は就任以来、今日まで7年と5ヶ月が経過をいたしました。その間の活躍には目を見張るものがあり、政治的な手腕を始めとして、頭脳明晰、豊富な人脈、人柄、抜群な行動力を武器にバランス良く歩を進め、今日まで梶原町を大きく発展させてきました。中でも町道佐渡鷹取線の改良工事を

を始め、図書館や複合福祉施設などの施設整備、そして高知県内34市町村の中で、梶原町だけである集落活動センター6か所の開所など、功績をたどれば数えきれないほどの活躍をされてきたのであります。また、一方では、これだけの数々の大きなプロジェクト事業を行いながら基金積立金にいたしましたも、就任時の75億円の基金は3月現在、約120億円となっております。この点についても高い評価をするべきであると感じております。町民の皆さんもこのような事実があることも知ってほしいです。このことは一心同体の結果であると思っております。

町長の残りの任期はまだ7ヶ月あるわけでありますが、先日「自治体国際化協会」のホームページを開いてみたところ、来る8月28日から9月1日まで韓国の蔚山市（ウるさんし）で開催される「第19回日中韓3か国地方府交流会議」の日本代表の3名の中の1人として参加を要請され、「少子高齢化の深化に伴う地方自治体の政策的努力」をテーマにした部門において、矢野町長がパネラーとして発言するようになってきているようであります。このことは、本町が取り組んでいる数々の政策が、国にも世界にも認められている証であり、本当に嬉しく思う次第であります。

そして残りの任期はまだ7ヶ月ありますので、各方面に対し、力強い尽力をいただきたいと思っております。町長の日頃の積極的な活動に心から敬意を表する次第であります。

町長は、平成21年12月に中越武義町長の後継者として副町長の職を辞して選挙戦に挑み、無投票によって見事4代目の町長に就任され、二期八年務めることになったのであります。当選後におい

では、50年前に山口勇町長が提唱していた「町長と助役は一心同体」でなければならぬとの言葉を胸に刻み、今日までそのことを頭に置きながら町政運営をしてきたのであります。

この教えの言葉を中越準一町長、中越武義町長、矢野富夫町長は深く理解して実行し、立ち止まることなく梶原町は日々前進し、千百年の歴史と伝統を守り、日本の中でも注目される存在となってきたのであります。そして「安全で安心」さらに「生まれよ良かった、住んで良かった」と言われる町となって今日に至っております。

を始め、図書館や複合福祉施設などの施設整備、そして高知県内34市町村の中で、梶原町だけである集落活動センター6か所の開所など、功績をたどれば数えきれないほどの活躍をされてきたのであります。また、一方では、これだけの数々の大きなプロジェクト事業を行いながら基金積立金にいたしましたも、就任時の75億円の基金は3月現在、約120億円となっております。この点についても高い評価をするべきであると感じております。町民の皆さんもこのような事実があることも知ってほしいです。このことは一心同体の結果であると思っております。

町長の残りの任期はまだ7ヶ月あるわけでありますが、先日「自治体国際化協会」のホームページを開いてみたところ、来る8月28日から9月1日まで韓国の蔚山市（ウるさんし）で開催される「第19回日中韓3か国地方府交流会議」の日本代表の3名の中の1人として参加を要請され、「少子高齢化の深化に伴う地方自治体の政策的努力」をテーマにした部門において、矢野町長がパネラーとして発言するようになってきているようであります。このことは、本町が取り組んでいる数々の政策が、国にも世界にも認められている証であり、本当に嬉しく思う次第であります。

そして残りの任期はまだ7ヶ月ありますので、各方面に対し、力強い尽力をいただきたいと思っております。町長の日頃の積極的な活動に心から敬意を表する次第であります。



問 私は、2年前の3月9日、この議場で一般質問に立ち3点について質問をしたところでありました。1点目は、南町と飯母にまたがる危険な山をカットし、災害を防止するとともに、町の拠点広場を作ってはどうか。2点目は、当時計画をされていた複合福祉施設と図書館を旧榑原小学校跡地に建築してはどうか。3点目は、旧若草保育所は有効利用されていないが、部落の活動拠点として整備をしてはどうか。と質問をいたしました。

当時の町長の答弁は、私の質問の順番を前後させ、2点目に質問をした複合福祉施設と図書館の関係と、3点目の旧若草保育所の有効利用から答弁をし、複合福祉施設と図書館については、いわゆる通り旧榑原小学校跡地に建築をしたいと答弁されたのであります。この関係から町中心部には広場がなくなるので関係者を始め、地権者の理解を得て是非前向きに検討したいと答弁をされたのであります。多額の予算も計上し調査をされていると理解をしておりますが、南町と飯母にまたがる山の関係はどのような経過と、今後どのような考え方をしているか町長の見解を問う。また、地権者の理解が得られない場合、万が一、災害が起きた際の賠償責任は地権者にあるのではないか。

町長 二宮議員から身に余るお褒めの言葉をいただきましたが、様々な事業ができましたのも土釜議長を始め議員の皆様、各区長、町民の皆様そして副町長、教育長、病院長を始め職員の皆様への支えがあつてのことであり、あらためて、皆様に敬意と深く感謝申し上げます。

今、本町は人口減少に歯止めがかかり始めるなど成果が表れておりますのは、先人の皆様方の思いを、まさに二宮議員が言われました「一心同体」として、つないできたからです。私は、山口勇町長からはじまり中越準一町長、中越武義町長にご指導いただき、国や県、企業等の皆様一人ひとりを大切につないできた流

れを、社会が大きく変化する今こそ、変えることなく、さらに加速しなげればなりません。去る3月22日に、次の町長選挙には出馬しないことを報告させていただきました。突然の報告により議員の皆様を始め町内外の皆様にご心配をおかけしたことに、あらためてお詫び申し上げます。

二宮議員には、持ち前の豊富な行政経験と政治力、行動力を持ってご提言やご指導をいつもいただいておりますが、その中で「南町と飯母にまたがる山の関係について」の経過と今後についてのご質問にお答え申し上げます。

これまで、専門家の指導のもと、平成25年度は、飯母地区側の山内に落石危険箇所が存在しており地質調査と経過観察、平成26年度は、落石防止と避難場所整備について概略設計、平成27年度は、関係地権者の立ち入り許可をいただき用地測量及び支障木調査、平成28年度は、これまでの成果を踏まえて予備設計を行いました。また、15名の関係地権者に事業内容を説明し、内2名の方に現在の時点では基本的に応じられない旨の返答をいただいております。

そして、平成29年度は、概略設計と埋蔵文化関係者と検討していく計画であります。調査の結果を踏まえると山全体の上面に大きな転石が数多くあり、途中立木で止まっている転石もあるなど、地震等により落石の恐れもあり表面的には不安定な状況といえます。

また、飯母側の一部で深層崩壊の危険性もありうるこのことであり、さらに細部の調査が必要と考えております。また、この地域は、高知県の文化財で、「城館跡（しろやかたあと）」であり「榑原城」跡として埋蔵文化財包蔵地となっているため慎重な調査が必要な箇所がありますので県と協議をはじめるところであります。

いずれにしても、現在のままで、将来にわたって放置することはできなく地権者の方々に、より細部にわたり説明しご理解をいただき本格的な検討をさせていただきたいと考えております。

地権者と関係者の理解を得て山をカットし、土地造成を実現すべく引き継ぎをしていく。

答 町長 矢野 富夫

一般質問

心のふれあい広場

虫送り

今回は、茶や谷部落で今もお受け継がれている伝統行事である虫送りを取材しました。

毎年6月29日は地区の大切な伝統行事である虫送りが行われています。龍馬脱藩の道の山道入口から下組部落との境まで約3kmの道のりをそれぞれお手製の松明に火をともし、鐘太鼓を打ち鳴らし、五穀豊穡を祈りながら歩きます。

地区のお年寄りから子供たちまでパチパチと火の粉をふりながら一列



パチパチと火の粉をふっている

になって歩きます。遠くから見ると松明の炎が一条の光となって暗闇の中から揺らめきながら動いている、とても幻想的な風景です。

古式ゆかしいこの虫送りでありますが、高齢化や人口減少によって少しずつ規模が縮小してきており、このままでは将来この行事が廃れてしまうのではないかとこの地元の危機感に社会福祉協議会がお手伝いをしたいと手を挙げていただき今年虫送りには、地域外の方々に呼びかけて一緒に参加してもらい、楽しんでいただくと同時に、ともに五穀豊穡を祈っていたらこうと、昨年から部落代表が中心となって、「松明づくりとPRのための動画づくり」に取り組んでこられました。

本年4月から町のホームページに組み込ませていただき広報活動をしてきました。そんな呼びかけもあり、虫送りには10名の一般参加があり、住民と共に賑やかに歩いていただきました。

初めて参加した方にお聞きしてみると、「松明を持って歩くなど初めての体験で、とても感動的で楽しかった」という話や、「松明の火の粉が歩きたびに舞い上がる様子がドキドキした」などの体験談をお聞きしました。



当日参加していただいた方々

虫送りに一般参加者を呼びかけて行うのは初めてのことでありましたが、たくさんさんの松明が田んぼの水面を揺らしながら進む光景は圧巻でありました。そして秋の収穫が実り豊かなものになる事は間違いないであろうと感じられました。

これからも継続していただき、交流の輪が広がり、地域の元気に繋がってほしいと願うばかりです。

下元秀俊 記

あとがき

世界各国また日本国内では、大きな事件・事故が多く発生しています。日本各地で多く発生している地震ですが、大きな災害にならないようお願いしたいものです。

県内では、大川村議会存続対策は、人ごとではありません。このためには、これまで以上に多くの人が町外から移住又、町外に出ないことが望まれます。

町長におかれては、次期出馬はしないと発表があり、副町長、議員1名が辞職をして、12月まで欠員のままで業務が行われそうです。職員、議会人は、なおいっそうの努力が必要であります。

暗い話ばかりではなく、明るい話題もあります。

最近では、将棋の藤井4段の29連勝、梶原高校野球部が県ベスト4になりました。

いよいよ広報四万十源流も今回が記念すべき100号となりますが、議会広報は活字が多くて面白くないと感じられているかもしれません。しかし正確に正しく町民の皆さんに議会のお話が伝えできればと思っております。

泣かず、飛ばす、急がず、慌てず、正しく、地味に邁進してまいります。これから暑くなりますので御身大切に。

中岡俊輔 記